



おとふけ

社協だより

No. 143

発行 社会福祉法人 音更町社会福祉協議会 音更町大通 11 丁目 1 番地 ☎ 0155-42-2400
E-mail : otofuke-shakyo@rainbow.plala.or.jp
HP : http://otofuke-shakyo.jp

令和 2 年 1 月 1 日

新年のあいさつ

音更町社会福祉協議会
会長 河田さえ子



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては希望に満ちた新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年「平成」から「令和」に移り変わり、新たな時代の幕開けとなりましたが、その一方で日本各地において大規模な自然災害が発生し、多くの地域に甚大な被害がもたらされました。

全国各地から駆け付けた多数の災害ボランティアによる支援や、災害義援金・支援金の協力がなされ、長期間の停電や断水に見舞われる厳しい環境の中で、被災した住民同士が助け合う映像を目の当たりにし、人と人との繋がり大切さと人の優しさや温かさを感じました。

本町においても認知症高齢者やひとり暮らし高齢者世帯が増加傾向であり、家族構成が変化する中、介護保険では対応できない生活ニーズや社会的孤立等を背景とする深刻な生活課題が顕在化してきております。こうしたことへの対応は公的な支援のみではなく、普段から地域住民同士が顔見知りの関係になり、いざという時に互いに支え合う関係づくりが出来ればと考えます。

社会福祉協議会として、「自助・共助・公助」が適切に組み合わせられるよう、家族及び住民相互による「助け合い」の仕組みを通じ、地域住民それぞれが自立した生活を送れるよう、地域における支え合いの体制づくりが課題となっております。

支援の必要な方が住み慣れた地域において安心して暮らし続けることが出来るために、より良い支援体制や仕組みづくりに向け、町民皆様の意見を伺いながら、各関係機関と連携し進めてまいりますので、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

最後となりますが、本年が皆様にとって幸多い年となりますようご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。



高齢者就労センターより
お知らせ

除雪作業いただける会員の募集について

現在、多くの町民の皆様より除雪のご予約をいただいておりますが、作業されている会員の人数が少なく、すぐに対応することが出来ない状況です。

前号でもご案内させていただいておりますが、除雪作業に係る会員の登録と業務内容について再度お知らせいたします。ご協力よろしく申し上げます。

活動内容 一般家庭の除雪作業

活動時間 概ね午前8時30分から午後4時00分の間でご自身の体調に合わせて

配分金 1時間あたり960円（交通費別途支給）

※業務に当たるには高齢者就労センターへの会員登録が必要です。

※町内在住の概ね60歳以上の方であれば会員登録することが出来ます。

問合せ：高齢者就労センター（☎0155-42-3335）



この社協だよりは、赤い羽根共同募金助成金が使われています。



大規模災害への対応について

平成30年から令和元年にかけ、全国で次々と記録的な豪雨や強烈な台風、そして地震が発生し、多くの犠牲者を伴う甚大な被害により、この国が「災害大国」であることを改めて思い知らされ、防災の大切さを身に染みて感じる年となりました。

このように頻発する災害への対応として、各都道府県の共同募金会が連携をし、災害等準備金での支援、義援金の募集（配分）、支援金の募集と助成などに取り組み、被災地（者）支援を進めています。

平成30年北海道胆振東部地震災害に係る被災地支援状況

（1）義援金の受付と配分について

平成30年9月6日に胆振地方中東部を震央として発生した「平成30年北海道胆振東部地震災害」。現在、日本赤十字社北海道支部並びに北海道共同募金会において義援金の受付が行われております。



- ・募金主体 北海道災害義援金募集委員会
（事務局：日本赤十字社北海道支部）
- ・受付期間 平成30年9月12日（水）
～ 令和2年3月31日（火）
- ・義援金総額 現在、全体で約56億円の協力があり、うち北海道共同募金会での取り扱いは約4億2,400万円となっております。
- ・配分方法等 寄せられた義援金は「死亡」「重症」「全壊」「半壊」「一部損壊」等の被害区分に応じ、それぞれ配分されております。

（2）支援金の受付と配分について

中央共同募金会により、被災地に入り支援活動を行うボランティアやNPOの活動資金を助成するための支援金「災害ボランティア・NPOサポート募金（ボラサポ・北海道）」の受付が行われました。



- ・受付期間 平成30年9月6日（木）
～ 平成31年3月29日（金）
- ・支援金総額 49,179,646円（平成31年3月末日）
- ・配分方法等 助成対象団体は、ボランティアグループ、NPO法人、社会福祉法人等とされ、16団体に4,830万円が助成されました。その他「被災地住民支え合い活動」として、安平町社会福祉協議会と厚真町社会福祉協議会にて行う事業費の助成がされました。

(3) 災害準備金の配分について

各都道府県の共同募金会において、毎年寄せられる赤い羽根共同募金の中から全体の3パーセントが、大規模災害の発生に備えた「災害等準備金」として積み立てられています。

北海道胆振東部地震災害の被災地においても、ボランティア活動の需給調整やバックアップの拠点となる「災害ボランティアセンター」が厚真町、安平町、むかわ町の3町で立ち上げられ、資機材のレンタル及び購入費用や活動資金として「災害等準備金」が活用されました。



募集中のその他の災害義援金

(1) 令和元年台風15号千葉県災害義援金

募集期間 令和元年9月17日(火)～同年12月30日(月)

(2) 令和元年台風19号災害義援金

募集期間 令和元年10月16日(水)～同年12月30日(月)

※令和元年台風19号関連の義援金におきましては、被害が広域のため中央共同募金会以外に、各被災県の共同募金会においても、それぞれ募集をしております。詳しくはお問合せください。

いずれも音更町共同募金委員会事務局にて受付しております。

音更町共同募金委員会（音更町大通11丁目1番地 音更町総合福祉センター内）

☎0155-42-2400 FAX0155-42-5481 月～金 平日午前8時45分～午後5時30分

災害ボランティア養成講座を開催しました

11月19日(火) 総合福祉センターを会場に開催しました。

この講座は、平成31年2月21日付で本会と音更町との間で「音更町災害ボランティアセンターの設置及び運営に関する協定」が締結されたことに伴い、有事に備えた取り組みの一環として、初めての開催となりました。

当日は一般町民、行政職員、民生委員、福祉関係者等49名が参加。

北海道社会福祉協議会 宮川 良介主査と厚真町社会福祉協議会 山野下 誠主幹を講師にお招きし、災害ボランティアセンターの概要や今回の胆振東部地震の際の災害ボランティアの取り組み等、実際の経験に基づく貴重なお話を伺うことが出来ました。

後半は各グループにおいて「災害対応ゲーム クロスロード」を行い、ゲームを通して災害ボランティア活動を行ううえでの心構えを学びました。



「ボランティア
基礎講座」
開催のお知らせ

～『ボランティアを始めてみたい』そんなあなたのための講座です。～

『始めるのに基本だけでも知っておきたい。』『活動するうえでどんなことに注意すれば良いの?』『どんな活動場所があるの?』この講座ではボランティアの基礎知識や考え方、注意事項等を学ぶことにより、ボランティア活動のきっかけを作ることを目的にします。

また現在ボランティア活動を行っている方においても、基礎を振り返る良い機会となりますので、ぜひ受講ください。

●日時・内容

【第1回】 2月18日（火） 午後2時00分～午後3時30分

「福祉って? ボランティアって?」 帯広大谷短期大学 佐藤 英晶 氏

『福祉』・『ボランティア』よく耳にするこれらの言葉も、その意味を考えると分からないことが多くあります。ボランティア活動を始める第一歩として、この機会に改めて考えてみましょう。



【第2回】 2月20日（木） 午後2時00分～午後3時30分

「活動を行う人が大切にしたい人と人とのかわり」 帯広大谷短期大学 佐藤 英晶 氏

人と人とのかわりやボランティア活動をするうえで基本となる傾聴の考え方やコミュニケーションの技術について学びます。

【第3回】 2月21日（金） 午後2時00分～午後3時30分

「車いす体験と介助」 帯広大谷短期大学 佐藤 千恵 氏

歩行困難な人が利用する車いす。乗ってみること、介助者として押してみることで、今まで気づけなかった困難さを感じながら、車いすの実際を学びます。

「これからの活動に向けて」 音更町社会福祉協議会地域福祉係

ボランティアセンターの仕組み、ボランティア登録方法の説明のほか、町内で行われている様々な地域住民主体の活動事例を紹介させていただき、これからのボランティア活動に結びつくきっかけとします。

3回全ての講座を受講することとしますが、1つの講座だけの受講も可能です。

●会場 音更町総合福祉センター

●定員 30名

●参加費 無料

●申込 2月10日（月）までに電話にて申込みください

(☎ 0155-42-2400)
(☎ 0155-42-5005)

おとふけ生きいきポイント事業について

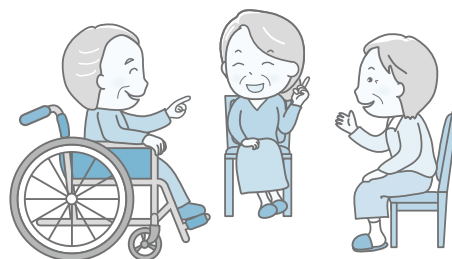
音更町に在住する65歳以上の方が、活動先に指定される福祉施設等でボランティア活動を行うことにより、ポイント手帳にポイントが付与され、貯めたポイントに応じ換金が可能です。

- 活動の対象者は介護保険料の未納や滞納が無い65歳以上の音更町民です。
- 活動に使用する「ポイント手帳」は随時交付します。(但し指定の研修を受講していただきます。)
- ポイント手帳に押印できるスタンプは1時間の活動につき1スタンプです。(1日の上限は2スタンプ=2時間分までです。)
- 換金は1スタンプ=100円です。年間最大50スタンプ(5,000円)の換金が可能です。
- 換金は10ポイントから行うことができます。
- 令和元年度の活動は令和2年3月31日までです。4月1日からは新しい手帳をお渡しします。

～登録者の活動状況～

現在、音更町が指定した町内の高齢者施設、障がい者施設、児童関係施設等にて様々なボランティア活動を行っています。

- 三味線、大正琴、踊り等の余興の披露
- 車いすの清掃、施設内花壇の草取り等の軽作業
- 夏祭り、敬老会等の施設行事の運営補助
- 施設でのトランプ、囲碁、将棋等、ゲームの相手
- お買いものの見守り、外食介助等の移動支援
- お話し相手、入浴後の整髪介助等
- 学童保育所での指導補助 他



これ以外にも活動先によって様々な活動があります。詳細は事務局まで問い合わせください。

..... 登録研修会を行います

- 開催日時** (木野会場) 1月20日(月) 午後2時00分～午後3時00分
(音更会場) 1月22日(水)
- 場 所** (木野会場) 木野コミュニティセンター
(音更会場) 音更町総合福祉センター
- 対 象** 65歳以上の音更町民
- 参 加 費** 無料
- 内 容** おとふけ生きいきポイント事業概要説明(30分)
活動状況報告・活動の際の注意点など(30分)
※受講後「ポイント手帳」を交付します。
- 持 ち 物** 筆記用具・介護保険被保険者証(登録の際、被保険者番号が必要となります。)
- 申 込** 1月14日(火)までに電話にて申込みください。
音更町社会福祉協議会ボランティアセンター(☎0155-42-5005)
※「木野会場」「音更会場」どちらか1会場をお選びください。



オレンジはっぴい〜開催のご案内

日時 1月16日(木) 午後1時30分から午後3時00分

場所 喫茶はっぴい〜 (音更町総合福祉センター内)

参加費 ドリンク1杯100円 (200円で飲み放題です)

メニュー コーヒー・紅茶・緑茶・本日のジュースほか
 温かい飲み物&冷たい飲み物各種用意しております♡



内容 ・お茶やお菓子でゆったりお話し
 ・認知症よろず相談など

❁ 認知症になっても安心して暮らせる街へ ❁

認知症により外出の機会が少なくなってしまった方や実際に介護をしているご家族、過去に介護の経験がある方や福祉施設等の職員、また社会福祉に興味のある地域の方まで、様々な方が参加し、お茶やお菓子を楽しみながら毎回交流しています。

参加は自由。出入りも自由です。どなたでもお気軽にお越しください。
 お待ちしています♪

音更町成年後見サポートセンター TOPICS

法人後見支援員が活躍しています

音更町社会福祉協議会では、家庭裁判所より選任を受け、成年後見人等を受任する「法人後見事業」に取り組んでいます。当該事業では、後見業務を職員とともに担う「法人後見支援員」が活動しています。

現在、本会では、7名の方の成年後見人等（後見類型4件、保佐類型2件、補助類型1件）を受任しており、法人後見支援員登録者（全32名）のうち、高さんが新たに活躍しています。

令和2年度は、市民後見人養成研修の開催を予定しております。日程及び詳細が決定次第ご案内させていただきます。

成年後見制度の理念に基づき、法人後見支援員として、依頼人の方が住み慣れた地域で自立した生活のできる喜びを支援させていただきたいと考えております。 高 支援員



法人後見支援員とは？

音更町が実施した市民後見人養成研修を修了した福祉に熱意のある町民が支援員となり、社会福祉協議会の法人後見事務を職員とともに遂行します。

- 市民の視点を活かし、ご本人の意思を尊重しながら、きめ細やかな支援ができることで、安心して住み慣れた地域や施設で暮らし続けることができます。
- 市民の参加により、成年後見制度の担い手が増え、この制度の利用を促進することができます。

子育てサロン「おとぴけ通り くるみ」が始まりました

令和元年7月、地域の中での子育てを支える場を目指して開設されました。子育てで育児困難になった時、子どもと向き合うのが辛いと感じた時、「くるみ」に行けば誰かがいてくれる、誰かがこの子を見てくれる、そういう心の安心感を得られる場所。子育て中の皆さんに寄り添い応援する場所です。(勿論、上記に限らず自由に遊びに来られます)

子育て真っ最中のママさんボランティア、子育てを終えたシニアボランティアさん、幅広い年齢層で地域の中での子育て、親支援をしています。お弁当やおやつ、飲み物の持ち込みもOKです。実家のような感覚でフリーな時間を提供しています。

ちなみに「くるみ」の意味は「抱きしめる、包み込む」という意味とのことだそうです。



場 所：社会福祉法人更葉園敷地内 おとぴけ通り（音更町東通13丁目3番地）

開催日：毎週 月・火・木・金（水・土・日、祝日はお休み）

時 間：9：30～16：00

駐車場：更葉園「きずな」正面の駐車場をご利用ください。(わからない場合はお声がけください。)

問合せ：中村 友子（TEL：080-6078-2011）

※インスタで情報発信してます（kurumi.kosodate）

育児グッズ交換会

令和元年11月23日、音更町総合福祉センターで、子育てサロン「おとぴけ通り くるみ」主催の育児グッズ交換会が開催されました。10月から町内各子育て支援センターや保育園等の協力を得て周知し、開場時には混雑するほどの賑わいでした。今回は、47組113名の方が来場し、洋服やおもちゃ、絵本などを交換しました。今後も定期的開催予定とのこと。



住民同士の支え合いの仕組みづくり

《住民参加の地域づくり講演会》

令和元年10月10日、音更町文化センターふれあいホールにて、住民参加の地域づくり講演会を開催し、135名の方にご参加いただきました。

第1部講演では、「支え合い・つながりのある地域づくり」と題して、全国コミュニティライフサポートセンター理事長の池田昌弘氏に全国各地の事例を交えながら、大変わかりやすいご講演をいただきました。第2部実践報告では、「住民有志によるラジオ体操の取り組みについて」、有志の皆様にご報告いただきました。参加いただいた皆様からは、「町内全体にこのような取り組みが広がるとよい」などのご感想をいただきました。



《緑陽台ふまねっとの会》

地域住民で集まってできる活動として、「ふまねっと」を取り入れる老人クラブや地域交流サロン、町内会などが増えています。そんな中、令和元年8月から住民有志の声がけで「緑陽台ふまねっとの会」が開設されました。「ふまねっと」を行うには、「ふまねっとサポーター」という資格を持った人の指導が必要となります。この会では、音更町内で資格を持っている方にボランティアでご協力いただいています。

毎回、30名近くの方が参加し、楽しく「ふまねっと」を行っています。どなたでも参加できるので、どうぞお越しください。

場 所：緑陽台会館

開催日：毎月、第2・4火曜日

時 間：10:00～11:30

※ふまねっと運動とは、50センチ四方のマス目でできた大きな網を床に敷き、この網を踏まないようにゆっくり慎重に歩く運動です。マス目を利用したステップがたくさん用意されており、このステップを間違えないように「学習」しながら歩行のバランスを改善する「運動学習プログラム」です。集団で交差して歩くこともできるので、レクリエーションとしても楽しむことができます。



《地域の支え合い情報募集！！》

ご近所同士、町内会、老人クラブなど対象は問いません。皆さんが行っている活動がありましたら、社会福祉協議会まで情報提供をお願いいたします。（ちょっとしたことでも大歓迎）

音更町社会福祉協議会 地域福祉係 えぶち 江縁まで

老人クラブ連合会事務局からのお知らせ

●十勝地区老人クラブ大会

令和元年10月17・18日、十勝川温泉笹井ホテルで十勝地区老人クラブ大会が開催され、各町村から373名（そのうち音更からの参加者は71名）が参加しました。大会の中で行われた功労者表彰は12名が受賞し、音更町からは國枝昭氏が受賞しました。

1日目はオフィスAZM濱野正洋講師による講演「温泉の効能で健康に」、2日目は土幌町と豊頃町の老人クラブ連合会がそれぞれ実践報告を行いました。



●十勝地区老人クラブ女性リーダー研修会

令和元年11月28・29日の2日間、十勝川温泉笹井ホテルで十勝地区老人クラブ女性リーダー研修が開催されました。各町村から391名（そのうち音更からの参加者は69名）が参加しました。

1日目は相田みつを美術館北海道友の会代表の上野正志氏による講演「人生の応援歌～相田みつをの世界」、2日目は芽室町役場保健福祉科の理学療法士柳澤倫世氏による講演「老人クラブで元気アップ体操」といった内容でした。



●老人クラブ友愛訪問

音更町老人クラブ連合会では、毎年12月に70歳以上の1人暮らしの会員に対して、友愛訪問を実施しています。今年度、対象となった会員は457名。単位老人クラブごとに対象者のご自宅を訪問し、声かけと記念品をお渡ししました。



(写真は清和いきいきクラブ中野末一さん訪問時の様子です。)

◎老人クラブ会員の募集について

音更町老人クラブ連合会は会員を募集しています。老人クラブは**60歳以上の人ならどなたでも**参加できます。興味のある人はお気軽にお問い合わせ下さい。

→老人クラブに入るには？

- ・単位クラブは、自宅から徒歩で集まることができる地域を範囲として組織化されています。
- ・会員は常時募集していますので、お気軽に声をかけてください。
- ・いきなりの加入に不安のある方は「体験参加」も可能です。

《申し込み・問い合わせ》

音更町老人クラブ連合会事務局(音更町社会福祉協議会) TEL0155-42-2400 FAX0155-42-5481

* ご厚志ありがとうございました * 令和1年9月5日～令和1年11月29日

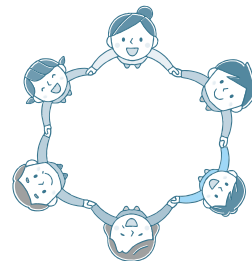
預託されました浄財を紹介いたします。 預託された浄財は配分先において有効に活用させていただきます。

社会福祉協議会の行ってます各種事業は、会員皆様の会費と寄付金等を主な財源として行っております。今後とも会員加入とご寄付につきまして、ご支援ご協力いただきたく、宜しくお願い申し上げます。

◎金 銭

(敬称略)

寄 付 者 氏 名	寄付金(円)	寄 付 金 使 途
音更町文化連盟 音更町文化芸術祭益金	30,000	社会福祉事業
音更消防すずらん分団	5,000	
音更蕎麦研究会	5,000	
匿名	1,623	北海道盲導犬協会



◎物 品

(敬称略)

預託品名	預託者氏名	数 量	
リングブル	青葉町内会	7.6kg	プルネット
	柳町フォークダンス同好会	1.45kg	
	すずらんグループ	16.5kg	
	清和ともしびの会	4kg	
	柳町老人クラブ	3kg	
	匿名	数量不明	
使用済み切手	(有)猪子建設	869枚	北海道ユニセフ
	すずらんグループ	3,124枚	
	清和ともしびの会	540枚	
	匿名	数量不明	
使用済みテレカ	すずらんグループ	23枚	音更町柏寿協会
はがき	すずらんグループ	937枚	
タオル	音更女性詩吟部	314本	町内福祉施設
雑巾	中央福寿会	46枚	
タオル・バスタオル	永楽老人クラブ	45枚	
お菓子	ライジング音更	1箱	



●『ケアニン』上映会のお知らせ●

ケアニンとは介護、看護、医療、リハビリなど、人の「ケア」に関わり、自らの仕事に誇りと愛情、情熱を持って働いている全ての人のことを言います。

介護職は肉体的にも精神的にも大変な仕事です。しかし、これほど人と本音で向き合い感動する仕事は無いと介護に関わる人たちは胸を張ります。この映画は新人介護士をモデルとし、認知症の症状で苦しんでいた高齢者と出会い、寄り添い、成長していく姿が描かれています。

介護職の魅力や家族の葛藤、認知症の方をどのように地域で支えていけるのかを改めて考えることができる作品となっています。

●日 時 令和2年1月19日(日) [開場] 午後1時00分 [開演] 午後2時00分

●場 所 音更町文化センター 大ホール ●入場料 無料(直接会場へお越し下さい)

〈主催〉ケアカフェ inおとふけ実行委員会 〈問い合わせ先〉介護老人保健施設あんじゅ音更(☎0155-30-8211)

～カレンダー・手帳(令和2年版)の寄付をお願いします～

音更町社会福祉協議会では、職場やご家庭で使用しない2020年(令和2年)のカレンダーや手帳の寄付を受付けます。少数でも受付けますので、どうぞご寄付ください。

なお、カレンダーは1月10日くらいより音更町総合福祉センターロビー(喫茶はっぴい～横)で無料にて配布いたしますので、カレンダー・手帳が必要な方は来館してみてください。



寄付受付期間 (年内) 12月30日(月)～(年明け) 1月15日(水)まで